



**琉大周辺の交通問題を扱った
円卓会議で感じた、別の課題？**



比嘉 恒晴（ひが つねはる）

出身：沖縄県

琉球大学 人文社会学部 国際法政学科

専攻：法学

地域円卓会議に関わったきっかけ



- 地域創生副専攻
の対象科目
- 初級地域公共政
策士の対象科目

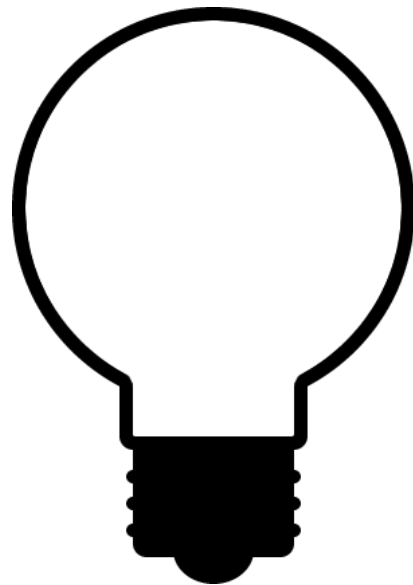
地域円卓会議の説明

- 幅広い属性の参加者
- 多角的な視点からの論点提供





道路を利用する人も様々



～目標～

新たに得た情報から地域の課題を自分事にする

高齢者が主体的に
ITを活用できるようになる
仕組みはどうしたら作れるか

バスが朝時間通りに来たら
那覇都市圏の生活は
どう変わるのか？

子どもの貧困連鎖を
断ち切るためには？

琉大駐車場の有料化
により、周辺道路の
渋滞は解消できるか

きっかけは 新聞記事

琉大への入構に年1万2000円 2022年度にも徴収開始 23年度以降には駐車場の有料化も

2021年2月23日 08:48 📄

琉球大学が、千原・上原キャンパス（西原町）内の渋滞や駐車場不足などの交通問題の解決と大学運営費確保を目的に、2022年度から入構手数料を徴収する方向で検討していることが22日、分かった。教職員と付属小・中学校の保護者や関係業者は年間1万2千円、学生は6千円を徴収する。23年度以降、駐車場の有料化も進める。一方、県内では駐車料金を廃止した大学もあり、徴収案に保護者らから反対の声が上がっている。（[関連](#)）

琉大は交通課題として、（1）通勤・通学時間帯のキャンパス内や周辺地域の渋滞（2）違反駐車、放置車両などによる駐車場不足（3）国の補助金縮減による大学運営費の圧迫（4）構内周回道路が地域住民の生活動線として常態化—などを挙げた。

大学へアクセスする公共交通の利便性が向上しているとし、マイカー通勤・通学から公共交通への移行を推奨している。

円卓会議で取り上げたテーマ

「琉大駐車場の有料化により、周辺道路の渋滞は解消できるか」

きっかけは
新聞記事



「駐車場有料化は渋滞を解決するための手段として有効？」



大学の施設運営部に
ヒアリング

- ・ 入構料はアイデア段階...
- ・ 大学の道路の老朽化が...
整備費用どうしよう...
- ・ 大学内の道路を使用する
1/3が大学以外の人たち...

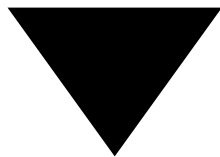


- ・ 地域住民と話さないとい
- ・ 大学側だけの問題ではないよね
- ・ 西原だけじゃなくて、県
全体の問題だよね



**琉大周辺の
交通問題を考える
円卓会議**

「琉大駐車場の有料化により、周辺道路の渋滞は解消できるか」



「琉球大学周辺の交通問題を考える
円卓会議」

シェアサイクルやキャンパスバス 実証実験への取り組み



円卓会議の様子

琉大駐車場 地域で議論 周辺交通など巡り円卓会議

琉球大学の駐車場整備の在り方を考える同大の地域円卓会議がこのほど、オンラインであった。周辺の交通渋滞や、



琉球大学周辺の交通について、円卓会議で意見を述べる参加者ら＝那覇市・みらいファンド沖縄の首里スタジオ

公共交通の在り方を巡り意見交換した。琉大施設運営部の玉城均課長代理は、午前7時、8時台に大学周辺で渋滞が発生すると指摘。キャンパス内に入り、10分以内に別の出口から出る車が約3割あるとし「抜け道として使っている」と分析した。

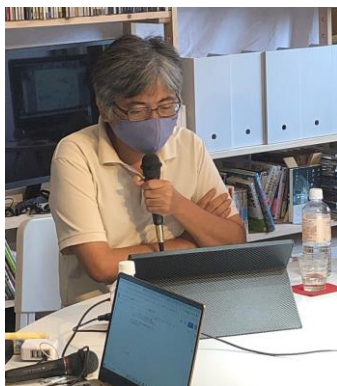
西原町千原区の比嘉利和自

治会長は「生活道路化している面は否めない。周辺道路が整備されていない中、どこまで許容されるかが課題だ」と述べた。

琉大内の駐車場不足や有料化に反対する学生の声もあった。玉城課長代理は「満車状態の駐車場もあれば空きがある所もある。整備しても無駄にならないよう議論が必要だ」とし、バスなど公共交通の周知も課題とした。

沖縄しまたて協会の中間淳也研究員は「駐車場を有料化するならば、コストをかけて入り口にゲートを設置するのはなく、性善説に基づいて費用を徴収する方法もある。大学のように公共性が高い所ならできるのでは」と提案した。

円卓会議は企業や行政、学識者らが地域の課題を共有して議論する取り組み。琉大の授業の一環として開かれ、みらいファンド沖縄の平良斗星副代表理事が司会進行を務めた。



**利害関係者同士が協力し合い
対話を行うことが大切**



キャンパスバス？
え、そんなのあるの？

大学生にもっと
知ってほしい...☹️









ありがとうございました！